

珍しい交響曲 チェコ Minor Symphonies Czech

作曲家	生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル	
Leopold Kozeluch	コジェルフ	1747-1818	交響曲 イ長調	※※	4楽章で20分。通奏低音のチェンバロの音も聞こえます。同時代のハイデン、モーツァルト、ベートーベンと比べると、ありきたりとしか聞こえません。		8.573627	Naxos	
			交響曲 ハ長調	※※	4楽章で21分。同上				
			交響曲 ニ長調	※※	4楽章で18分。同上				
			交響曲 ト短調	☆☆☆☆	3楽章で17分。短調の雰囲気はある程度味わえます。第3楽章は充実しています。				
Johann Wenzell Kalliwoda	カリヴォダ	1801-1866	7	交響曲第1番(1825)	☆☆☆☆	4つの楽章で28分。第1楽章は短調の豊かな響きを味わえます。第3楽章はシューマンの第4番の第3楽章似。	83289	Carus	
Antonin Dvorak	ドヴォルザーク	1841-1904	9	交響曲第1番(1865)	※※	個性的な部分もありますが、散漫な感じでは。		TKCC-70281	徳間ジャパン
				交響曲第2番(1865)	×	個性を消して西洋の様式に近づけようとして失敗しているようです。		TKCC-70282	徳間ジャパン
				交響曲第3番(1873)	★★★★★	再び個性を前面に打ち出して成功しています。荒削りな魅力にあふれています。特にいろいろな事件が起こる第2楽章は第8番の第2楽章に近い感じがします。		TKCC-70283	徳間ジャパン
				交響曲第4番(1874)	★★★★★	チェコの民俗色満載です。第2楽章冒頭はタンホイザー序曲と似ています。素朴に音楽に浸れます。		TKCC-70283	徳間ジャパン
				交響曲第5番(1875)	☆☆☆☆	牧歌的な感じの曲です。		TKCC-70284	徳間ジャパン
				交響曲第6番(1880)	★★★★★	特に第1, 3楽章はチェコの民俗色満載です。		TKCC-70285	徳間ジャパン
Zdenek Fibich	フィビフ	1850-1900	3	交響曲第1番(1883)	※※	第4楽章になってやっとチェコ風味が出てきます。		8.572985	Naxos
				交響曲第2番(1893)	※※	あまり聞き映えはしません。		8.573157	Naxos
				交響曲第3番(1898)	☆☆☆☆	民族楽派らしい雰囲気を味わうことができます。	○	8.57412	NAXOS

Leos Janacek	ヤナーチェク	1854-1928	1	ドナウ交響曲(1928)	※※	作者の死後発見され、1948年に弟子が編集して初演。このCDの演奏は1985年に音楽学者が改訂した版。シンフォニエッタに似た雰囲気はありますが、4つの楽章で16分という短さ。	SU 3888-2	SUPRAPHON
Josef Bohuslav Foerster	フェルステル	1859-1951	5	交響曲第1番(1888)	☆☆☆☆	4つの楽章で30分。第1、4楽章には聞き映えのする部分があります。	MDG63222442	Mdg
				交響曲第2番(1893)	☆☆☆☆	4つの楽章で45分。第2楽章の葬送行進曲と第4楽章は聞きごたえがあります。		
				交響曲第3番(1895) 人生	☆☆☆☆	4つの楽章で39分。第2、4楽章は聞きごたえがあります。		
				交響曲第4番(1905) 復活祭の夜	☆☆☆☆	4つの楽章で40分。聴きごたえがあります。第4楽章の最後は3番までとは異なり、大変盛り上がります。		
				交響曲第5番(1929)	☆☆☆☆	70歳の誕生日を記念して初演されました。4番までとは、だいぶ異なり、分かりやすくなっています。		
Josef Suk	スーク	1874-1935	2	アスラエル交響曲(1906)	☆☆☆☆	アスラエルは死を司る天使の名前とのこと、イスラエルとは無関係です。リヒャルト・シュトラウスのような響きがします。変化に富んで聞き映えのする部分も多いです。	483 4781	DECCA
Bohuslav Martinu	マルティヌー	1890-1959	6	交響曲第1番(1942)	☆☆☆☆	第3、4楽章は聞き応えがあります。	8950 交響曲全集	DDD MCPS
				交響曲第2番(1943)	☆☆☆☆	ピアノが入ります。だいぶ分かりやすくなっています。		
				交響曲第3番(1944)	※※	3楽章の曲。ピアノが入ります。魅力に欠けます。		
				交響曲第4番(1945)	☆☆☆☆	特に第2、4楽章が印象的です。		
				交響曲第5番(1946)	×	軽い感じで楽しめません。		
				交響曲第6番(1953)	※※	ところどころは聞けます。		
Jan Hanus	ハヌシュ	1915-2004	7	交響曲第2番(1951)	☆☆☆☆	37分。作曲年より50年は昔の感じの曲。おもちゃ箱をひっくり返したようにいろいろな場面が脈絡なく登場し、とても楽しい気分になれます。	SU 3701-2 001	SUPRAPHON